

しまねの森林



2016「しまねの森林」フォトコンテスト最優秀賞作品

特集

P6 2016「しまねの森林」フォトコンテスト 結果発表



- P2 森林のトピックス① 「しまねWOODフェア2016」開催!!／一般社団法人島根県木材協会
- P4 森林のトピックス② 森林のニューフェイス／島根県林業労働力確保支援センター
- P5 森林のトピックス③ 東日本大震災の復興に携わって～宮城県派遣職員からの状況報告～／島根県森林整備課
- P8 森林のトピックス④ 斐伊川流域林業活性化センターが平成28年度水資源功績者表彰を受賞！
／島根県東部農林振興センター
- P9 森林の研究 竹チップできのこを栽培する／島根県中山間地域研究センター 農林技術部 資源環境科
- P10 森林の知恵袋① マダニに咬まれないように注意しましょう／島根県林業課 林業普及スタッフ

NO. 42
平成28年10月 通巻282号

「しまねWOODフェア2016」開催!!

一般社団法人島根県木材協会

平成28年9月25日(日)、くにびきメッセで「しまねWOODフェア2016」を開催しました。

しまねWOODフェアは、製材業者・工務店等の連携による地域材製品等の展示や、木育関連の取り組みにより、木の良さをPRし、今後の住宅分野等における木材需要の拡大を図るもので、木材関係者等による大規模なイベントとして昨年に引き続き開催しました。

フェアでは木材・住宅メーカーによる木製品の展示やこだわりの家づくりのPRをはじめ、国・県・各種関連団体の情報発信コーナーや、東京おもちゃ美術館(移動美術館)による木育、NPO法人等による木工体験、木製品の即売、ステージイベントなど、盛りだくさんのコーナーを設けました。別室の国際会議場では、建築士等による木の家づくりのパネルディスカッション等も開催しました。

来場者数は4,185人と、大盛況のイベントとなりました。

今後もこうしたPR活動等により、お客様の声を聞き、県産木材製品の生産・供給の一層の拡大を図ります。

木材・住宅メーカー等による木製品等の展示・PRコーナー

島根県内の製材所等が開発した良質な木製品が展示されたほか、住宅メーカーによる、こだわりの木造住宅がPRされました。



県・国・各種団体等の情報発信コーナー

住宅関連団体や行政コーナーでは、取組のPRや、趣向を凝らした体験型企画などで、来場者の興味を引きながら、木造住宅や木材等のPRを行いました。



しまねの木を活用した『森』からつながる『家』づくり



「しまねの木の家」づくり安心サポート

「しまねの木の家」推進センター(一般社団法人島根県住まいづくり協会内)
島根県松江市北田町35-3 建築会館内 TEL(0852)31-1282 <http://www.sumai.ne.jp/>



東京おもちゃ美術館による 木育コーナー



WOODフェアへの集客の目玉が東京おもちゃ美術館（移動型美術館）です。昨年度に引き続き今年度もコーナーを設けました。木製遊具がたくさん展示され、多くのお子さんや家族連れで大変に賑わいました。

木製品の無料配布



木の家づくりのパネルディスカッション &体験会



別室の国際会議場では、「しまね木造塾」及び「松江・森からプロジェクト」による“地域に根差したエコロジカルな木の家”と題して、製材所の代表や建築士によるパネルディスカッションが開かれ、参

加者は熱心にパネリストの発言に耳を傾けました。

同会場では、女性建築士による設計体験会や、牛乳パックを使った耐震模型づくりが実施され、建築模型なども多数展示されました。



人気のゆるキャラ も登場!

島根県観光キャラクター「しまねっこ」や、水と緑の森づくりのイメージキャラクター「みーもくん」も盛り上げに一役！ 子供たちに大人気でした。

県産木材の利活用おうえん隊



島根県建築士会 **しまね木造塾** コアスタッフ一同

アトリISHUN
建築設計事務所 飴屋工房
宇佐美建築設計室
宇田川孝浩建築設計事務所
蔵本総建コンサルタント
コクーン設計舎

田中まさこ建築設計室
一級建築士事務所 田中屋工房
中村建築設計事務所
有限会社 万設計
村上建築設計事務所
渡邊建築工房株式会社

森林のニューフェイス

New Face

島根県林業労働力確保支援センター

「森林のニューフェイス」では、森林・林業のエキスパートとなるべく、島根県内の森林組合等林業事業体に就職し現場で活き活きと働く林業の担い手を紹介します。



- ①林業に就業した動機は？
- ②林業に就業して良かったことは？
- ③仕事を始めた頃から変わったことは？
- ④林業に対するこれからの夢は？



井上 翔之
(23才)

林業経験：5年 勤務先：山陰丸和林業(株)

- ①学生の時、進路指導の先生に今の会社を勧められ体力に自信があったので、林業に挑戦しようと思いこの仕事に就いた。
- ②自然が相手なので体がしんどい時もあり大変だけど、一つの仕事が終わった時の達成感や充実感が味わえた。
- ③山や木に興味を持つようになったので、休日には紅葉を見に出かけたり、木製品や加工された木の材質などを調べるようになった。
- ④今後、日々技術と知識を高めながら自分自身が成長して後輩を指導できるようになりたい。



宮崎 篤
(38才)

林業経験：8年 勤務先：伸共木材協同組合

- ①以前勤めていた職場がなくなり、山に興味もあり入社した。
- ②四季を感じられ、いろいろな木の名前がわかる。
- ③体が健康になった。
- ④架線集材作業を行っているので、これからもこの技術を絶やすことなく次に入社してくる人達にも伝えていきたい。同じやり方はあっても架線の張り方が違い毎日が勉強なのでやりがいのある仕事です。



春木 剛
(42才)

林業経験：2年 勤務先：隠岐島後森林組合

- ①林業に興味があり、20年間勤めた会社を退職し知人の紹介で就職した。
- ②自然が相手で大変だが、四季を感じられて楽しい。
- ③森林・樹木を見る目が変わったと思う。
- ④労働災害に注意しながら、肉体労働の経験や新たに学んだ高性能林業機械の知識を活かしていきたい。



多久 健一
(20才)

林業経験：3年 勤務先：飯石森林組合

- ①幼いころ祖父と山に木を植えたり椎茸を取りに行ったりしているうちに、自然に興味を持つようになりました。
- ③最初は体力的にもついていけない不安もありましたが、先輩方の優しい指導もあり楽しくやっています。残業がないので自分の時間が持てることも良かったです。
- ④現場に入れば大変危険な仕事なので「事故を起こさない、怪我をしない」を目標に入れて、安全第一に仕事をしていきたいと思っています。



森林の中で働く人のお手伝いをします

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 林業労働者の募集 | 2. 新規就労者及び雇用主に対する研修 |
| 3. 林業就業促進資金の貸付 | 4. 林業雇用に関する情報の提供・相談 |
| 5. 雇用改善のための啓発活動 | その他の援助 |

島根県林業労働力確保支援センター（公益社団法人 島根県林業公社内）

松江市黒田町 432 番地 1(島根県土地改良会館 3F)

TEL(0852)32-0253 FAX(0852)21-4375 E-mail shimane-roukakuc@nifty.com



東日本大震災の復興に携わって

～宮城県派遣職員からの状況報告～

島根県森林整備課 高下智幸

(宮城県気仙沼地方振興事務所 農林振興部 森林整備班)

私は、島根県から東日本大震災の災害復旧を図るため、宮城県気仙沼市にある気仙沼地方振興事務所に今年4月から派遣されていますが、その近況についてご報告します。

平成23年3月、未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から5年が経過し、被災地では賑わいが戻り始めています。

宮城県では、沿岸の復興工事も本格化し、公共土木施設の復旧工事も9割以上が着手され、「宮城の将来ビジョン」に掲げる「元気な宮城」の実現を目指して復興に取り組んでいます。

そのような中、公共土木施設に関する復興事業は現在ピークを迎えています。今年度は、各自治体より232名が県へ、279人が市町へ職員が派遣されていますが、県・市町合わせて約300人の職員が不足している状況です。

これらの背景には、復興事業がピークを迎えることに対し、県外からの派遣職員が年々減少しているギャップから生じるものと考えられます。震災から5年が経過し復興は進んでいますが、未だに約35,000人の方が仮設住宅で生活されている状況です。高台移転事

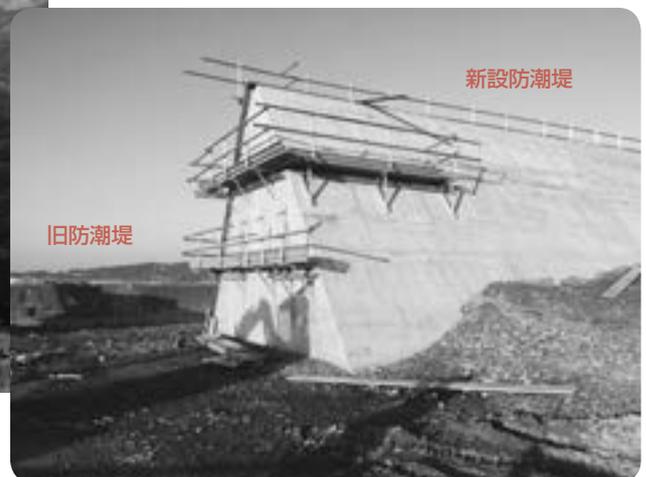
業等、さらなる加速化が求められており宮城県としては職員不足の解消に努力されているところです。

私の主な担当業務は、治山施設（防潮堤）の災害復旧事業であり、高さが約8～9mの防潮堤建設に携わっています。被災前の防潮堤の高さが約3～5mに対し、新設される防潮堤は、約2倍の構造高となり、防災対策は向上し住民の安全が確保される一方、長い歴史の中で海と共に生活してきた地元住民にとっては、海との生活に隔たりが生じるなど懸念の声も聞かれます。被災地復興のために防潮堤の整備は不可欠であるため、地元調整を疎かにせず多くの理解を得て事業を進めていくことが必要であると感じています。

被災地では、震災の爪痕は今もなお痛々しく残っており、現地生活すると報道等では伝わらない情報を多く得ることができます。被災地を見て感じる事、実際に被災した方からの体験談を聞くなど、現地暮らしでしか得ることのできない情報を正確に伝えることも自分の役目だと思っています。1年間の短い任期ですが宮城県の復興のため、そして自分にとって貴重な経験となるよう努力していきたいと思ひます。



気仙沼市 現在の状況



建設中の防潮堤
(旧堤の背後に新設防潮堤を建設)

2016「しまねの森林」フォトコ

毎年恒例となりました「しまねの森林」フォトコンテスト。今年は県内外46名の方々から111点の応募がありました。その中から選ばれた入賞作品11点を発表します。

「タイトル」
(撮影場所)
コメント

最優秀賞

「杉苗手入れ」(大田市)



行長好友さん

植林に至るまでの、地道な育苗作業の様子を窺い知ることが出来る秀作です。

優秀賞



「吊り橋のある森」(出雲市) 吉岡直樹さん

森と清流そして環境に配慮された吊り橋、そこに佇む少女と犬、物語が生まれそうな作品です。



「森林と共存」(松江市) 佐藤正美さん

木漏れ日のなかに椎茸のほだ木が浮かび上がり、手入れの行き届いた森の描写も素晴らしいです。

講評

島根県民の歌で「薄紫の山並みは遥か希望の雲がわく」と歌われた山々は四季それぞれに美しく、また朝、昼、夕と表情を変える様は心に安らぎを与えてくれます。今を生きる我々に、この緑豊かな森林資源を如何に利用し、維持し、後世に伝えていくか、このコンテストが森林に対する理解の一助となれば幸いです。

今年の応募作品は、「しまねの森林」部門と新しく「木のある暮らし」部門が出来たことにより、多彩な作品が集まりました。その中でも森林の維持、管理を対象とした作品が多数ありました。写真的に優

れていても、そこに写し撮られた作業内容が安全性等の観点から、残念ながら受賞の対象にならない作品もありました。

新設の「木のある暮らし」部門へは、初めての募集でもあり数はそれほど多くはありませんでしたが、この部門は気軽に応募できるテーマでもあり、今後、コンパクトカメラやスマートフォンで写し撮った、明るくて、楽しい作品が数多く集まることを期待しています。

「しまねの森林」フォトコンテスト審査委員長
日本写真協会会員 成相 吉堯

ンテスト結果発表!

たくさんのご応募
ありがとう
ございました!

入 選



「森の星空」(大田市) 橘 重孝さん
星が降るように感じられ、澄み渡る空気に包まれた森の環境を、星空で表現した異色の作品です。



「チャレンジャー」(安来市) 佐伯範夫さん
遊具とスポーツとを兼ね備えたウッドクライミングでしょうか、子供の位置とポーズが良い作品です。



「挑戦」(松江市) 田村啓子さん
集中して丸太を切る様子は真剣そのもの、やや曲がったノコギリに苦戦の様子が窺える力作です。

佳 作



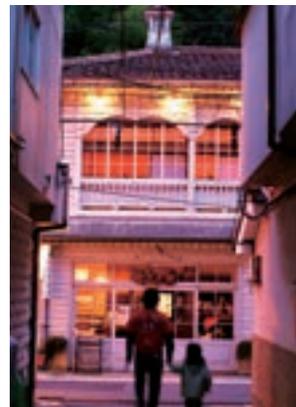
「チェーンソーアート」(邑南町) 矢野千恵子さん
氷のアートはよく見ますが、チェーンソーで用材を削るアートはとても面白く、着眼点が良いと思います。



「緑のカーテン」(飯南町) 河野将幹さん
立ち並ぶ木立、紅葉の始まった木を見上げる人物を入れることで、森の深さを感じさせる作品です。



「守る育てる」(隠岐の島町) 桑名弥栄さん
潮風からアカマツの群落を守る防風柵は珍しく、美しい並木の姿も上手く捉えられています。



「名湯の街角」(大田市) 糸賀一典さん

洒落た洋館建築には歩んできた歴史が感じられ、照明にいで湯の雰囲気が高い、親子の姿が最高です。



「石神さんの森」(出雲市) 角場 薫さん

御神体の岩に覆いかぶさる樫の幹、巨石と巨木、共に心霊がこもっているかのようです。

入賞作品展示のお知らせ

【中山間フェアinい〜なん】

平成28年 10月22日(土)

9:30~15:00

中山間地域研究センター
(飯石郡飯南町上来島1207)

【島根県庁本庁舎 1階 玄関ロビー】

平成28年

11月21日(月)~25日(金)

(松江市殿町1)

【島根県立図書館 1階】

平成29年

3月3日(金)~4月5日(水)

(※月曜休館)

(松江市内中原町52)

斐伊川流域林業活性化センターが 平成28年度水資源功績者表彰を受賞！

島根県東部農林振興センター

斐伊川流域林業活性化センターが、水資源の開発、利用、水源の涵養など長年にわたって水資源行政の推進に功績のあった団体等に贈られる水資源功績者表彰を受賞しました。平成28年8月1日に科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）で表彰式があり、国土交通省山本副大臣から受賞者の代表に表彰状が授与されました。流域林業活性化センターとして受賞するのは全国初となります。



式には斐伊川流域林業活性化センターより立石副会長が出席

【受賞した活動の内容】

次の活動が、森林の持つ水源かん養及び国土保全機能等を高め、下流域の水資源確保や宍道湖・中海の水質保全及び山地災害防止に大きく寄与したと認められました。

①広域市町が連携した取り組み

上下流の当時29市町村（松江市、鹿島町、島根町、美保関町、八雲村、玉湯町、宍道町、八束町、東出雲町、安来市、広瀬町、伯太町、出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町、大社町、斐川町、大東町、加茂町、木次町、三刀屋町、吉田村、掛合町、仁多町、横田町、頓原町、赤来町）が水源林・荒廃林の整備を行うために協定を結び、流域内の森林整備を実施。

②15年間にわたる継続的な取り組み

平成27年度までに380ha（東京ドーム80個分）の植栽を実施。現在も継続して、植栽・下刈等の施業を実施。

③上下流住民が協働で植樹活動を実施

上下流の住民が一体となった住民交流会（植樹活動）を実施。15年間で延べ1700人の住民が参加。



今年度は9団体が受賞

斐伊川流域上下流自治体連携による森林整備 (H13～H27)

【森林整備】

- 森林整備協定（第1期） : 297 ha
- 荒廃林等再生整備事業（第2期） : 83 ha

【斐伊川水系水源の森林づくり H20植栽（雲南市）】

【平成27年度 上下流住民交流会（奥出雲町）】



竹チップできのこを栽培する

島根県中山間地域研究センター 農林技術部 資源環境科

■竹を使う必要性

かつては建材や日用品の原材料として重宝された“竹”は、近年では使用される量が減少し、それに伴う竹林の拡大が全国的に問題となっています。そのため、工業的利用の他、農・林・畜産分野においても新規用途の開発が検討されています。

■きのこ栽培原料としての適性は？

通常は木材のおが粉で栽培されるのを、竹チップ（モウソウチク）を半分混ぜた状態にしました。その結果、マイタケ、ナメコ、ヒラタケの収量は通常栽培の0.9～0.95倍と僅かに少なくなりました（各生鮮重量比）。シイタケについては、通常栽培に比べて収量減少する場面もありましたが、栽培条件によっては約1.2倍に増加しました。今後、栄養材の種類や培養方法を検討することで、竹を使用した各種きのこ栽培が可能になると考えています。

■竹栽培きのこの成分

竹には木材よりもカリウムが多く含まれており、そのため竹栽培きのこのカリウム濃度が比較的高くなることを確認しました。また、グルタミン酸など数種類のアミノ酸も増加する傾向にあり、旨味の向上が期待されます。

■成果の活用

研究協力者の「(株)F・B・L」によって、竹チップを原料としたきのこ類の栽培法および収穫したきのこの含有成分が実用新案登録されました（第3204542号）。この研究成果を県内きのこ産地に提供して、地域資源として竹の活用を進めていきます。

(専門研究員 富川康之)



竹のチップ化作業



竹で栽培したマイタケ

地球にやさしいカートカン

※国産材30%以上使用した紙製飲料容器です。

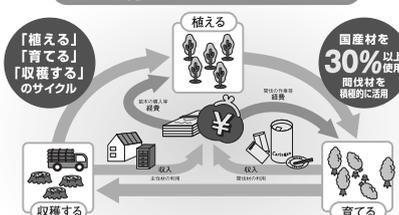


カートカン(紙製飲料缶)は
第三回エコプロダクツ大賞
エコプロダクツ部門
農林水産大臣賞受賞



●紙製飲料容器『カートカン』は
ストローいらずでゴクゴク飲めます!

緑のサイクル



pokka sapporo



お問い合わせは「自販機本部」
(03)5634-1621まで

ポッカサッポロフード&ビVERAGE株式会社
<http://www.pokkasapporo-fb.jp/>



■ マダニに咬まれないように注意しましょう

島根県林業課 林業普及スタッフ

森林の知恵袋⑩

SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は、SFTSウイルスに感染することによって引き起こされる病気で、SFTSウイルスを保有したマダニに咬まれることで感染します。

島根県では、2013年7月に初めて発生が確認され今年度も4月以降、3例の患者報告がされています。

潜伏期間は6日～14日程度で、主な症状は発熱と消化器症状（嘔吐、下痢等）で、重症化により死亡する場合があります。

春から秋にかけては、マダニが活発に活動する時期です。今回は本格的な秋の到来に向け、マダニ対策のポイントをお話しますので、森林などに入る場合には、十分に注意しましょう。

【予防のポイント】

1. 長袖・長ズボン・手袋等を着用して、肌を出来るだけ出さないようにしましょう。

2. 肌が出る部分には人用防虫スプレーを噴霧しましょう。
3. 地面に直接寝転んだり、腰を下ろしたりしないよう敷物を敷きましょう。
4. 野外活動後はマダニに咬まれてないか確認するとともに、帰宅後はすぐに入浴し、体を良く洗い、新しい服に着替えましょう。



フタトゲチマダニ(成虫)

【マダニに咬まれた場合には】

1. 吸血中のマダニに気づいた際、無理に取ろうとすると、マダニの一部が皮膚内に残ってしまうこともあります。できるだけ医療機関（皮膚科）を受診してください。
2. マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱、食欲低下、嘔吐等の症状があった場合には、早めに医療機関を受診してください。

豊かな森を活かし地域に貢献する

島根県素材流通協同組合

〒699-2837 江津市松川町上河戸390-22 TEL:0855-55-0840 FAX:0855-55-0841
E-mail:shimanesoryuukyoku@aioros.ocn.ne.jp

緑の募金
森林に
“あなたの思い”
届けます！

(公社)島根県緑化推進委員会
〒690-0886 松江市母衣町55 島根県林業会館内
TEL(0852)21-3049 FAX(0852)21-8231

東日本震災地域の森林復興を支援します

15かげさまで20周年

20th

賛助会員を募集しています

育林、林産、森林土木、造園等の施工管理
緑を育て水をはぐくむ

大和森林株式会社
代表取締役 松原正記

本社 島根県松江市東朝日町87番地6 〒690-0001
☎(0852)21-6222

営業所 鳥取、松江、益田、津山、三次

森林の明るい未来に貢献する



しまね企業参加の森づくり事業



●島根県森林技術ボランティアサポート制度 第1号登録団体

島根県森林土木技術協会

島根県森林土木技術協会

〒699-0202 島根県松江市玉湯町湯町 147-1 島根県測量設計会館内
TEL 0852-62-0979 FAX 0852-62-0948

「2016中山間フェアinい〜なん」へ行こう!

島根県中山間地域研究センターでは、県民の皆様により理解され、親しまれる研究機関となるよう、施設を開放した交流イベントを開催します。

当日は大人から子供まで楽しめる催し物を多数用意しております。

楽しく、美味しい秋の「い〜なん」で一日をぜひ満喫してください。

■日時：平成28年**10月22日(土)** 9時30分～15時
※雨天決行

■場所：島根県中山間地域研究センター内 (飯南町上来島1207)

- 内容：
- ・飯南高校と飯南町内中学校による合同吹奏楽
 - ・各種体験コーナー（木工体験、顕微鏡観察、野遊びカフェ他）
 - ・スタンプラリー（景品あり）
 - ・きのこがいっぱい in chu-san-kan part 3
 - ・GISシンポジウム
「〜鳥瞰・直感・快感〜ドローン活用事例報告」
 - ・島根大学教育研究紹介
 - ・うまいものコーナー、お買いものコーナー など

■主催：島根県中山間地域研究センター

■協力：飯南町

同時開催「ミセスロビンフード オータムフェア」

(ステージイベント、飲食販売他あり)

場所 中山間地域研究センター隣接地



昨年の中山間フェアの様子

安全・安心・美味しい

日本産原木しいたけ栽培を応援します



一般財団法人 **日本きのこセンター**
三次支所

広島県三次市島敷町916-2

TEL 0824-63-1226 FAX 0824-63-2012



安心安全・美味しいキノコをお届けします。

・椎茸、舞茸、エリンギ

『美味しまね認証』取得

・椎茸菌新品種『雲太-1号』開発

有限会社奥出雲椎茸

島根県仁多郡奥出雲町三沢 98-3

TEL 0854-54-2150

FAX 0854-54-2151

株式会社舞茸奥出雲

島根県仁多郡奥出雲町八川 889-2

TEL 0854-52-0017

FAX 0854-52-3370

除草はおまかせ下さい!

竹類に効果抜群です!

○ **テゾレート**

非農耕地用除草剤

日本カーリット株式会社

九州営業所

福岡市博多区博多駅前1-4-4

☎ (092) 473-6521

FAX (092) 451-8195

クズ株処理剤

○ **クズコ** 液剤

1株ワンプッシュ 経済的

野津善助商店

本社 八東郡東出雲町大字錦浜583-10

☎ (0852) 53-0670(代)

FAX (0852) 53-0674

E-mail: notsu@tx.miracle.ne.jp

県民の森へ行こう!

島根県県民の森
飯石郡飯南町小田

11月~3月の
イベント情報

県民の森では登山、木工教室等各種イベントを開催しています。自然や森とのふれあいの楽しさ、木の温もりを感じてください。

◆11月5日(土)

大パノラマ紅葉の琴引山縦走

8:30 Aコープきじま店集合

◆11月13日(日)

紅葉の毛無山〜鯛の巣山縦走

8:30 雲南市吉田総合センター集合

◆11月20日(日)

晩秋、冬眠前の森で火と憩いの1日を過ごす
〜おき火で焼く棒焼きパンとホイル焼き、椎茸菌体験〜

10:00 県民の森木工室集合

◆12月3日(土)

新雪?の大万木山登山

8:30 道の駅頓原集合

◆平成29年 2月25日(土)

スノーシューで残雪の森を歩こう

9:30 県民の森木工室集合

〈申込先〉島根県立ふるさと森林公園 学習展示館

TEL 0852-66-3586

※各開催日の3カ月前より受付します

緑をはぐくみ 水をつくる 島根県水源林造林協議会

〒690-0886 松江市母衣町55番地

電話 (0852) 24-1092

FAX (0852) 61-4350

e-mail: suizoukyo.shimane@bird.ocn.ne.jp



山陰の森林に関する活動をしているNPO法人やボランティア団体がネットワークを構築し、森林保全の輪を広げる活動を展開しています。

森林を守る会!
山陰ネットワーク会議

ホームページアドレス <http://www.mori-sanin-net.jp/>

事務局 山陰合同銀行地域振興部内 松江市魚町10 TEL.0852-55-1820

地域とともに豊かな森林を創る

農林中央金庫

中国農林水産環境事業部

岡山市北区磨屋町9番地18の101号 TEL (086) 222-0675

『出雲の山城』

—山城50選と発掘された城館

山城50を厳選し、写真や縄張り図で詳しく紹介!

A5判 314P ¥1,800+税



ハーベスト出版 [機谷口印刷内]

TEL 0852-36-9059 FAX 0852-36-5889

URL <http://www.tprint.co.jp/harvest/> E-mail: harvest@tprint.co.jp 〒690-0133 島根県松江市東長江町902-59

お近くの書店でお買い求め下さい。



広域

新任林業技術者研修 ～フォーリングブロック式 機械集材現地～

- 日時：平成28年8月1日(月)
- 場所：雲南市吉田町



県庁林業課

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kentyou/>

松江

ナラ枯れ被害対策 学習会

- 日時：平成28年8月29日(月)
- 場所：峠下ふれあいセンター
(安来市安田山形地区)



東部農林振興センター

URL : http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/kikan/toubu_norin/ringyo/blog_cms/

雲南

田井小学校 みーもスクール ～竹筒ごはんづくり体験～

- 日時：平成28年7月6日(水)
- 場所：雲南市田井小学校



東部農林振興センター雲南事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kisuki/>

出雲

親子でふれあう 木工教室

- 日時：平成28年8月20日(土)
- 場所：備出雲原木市場



東部農林振興センター出雲事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-izumo/>

浜田

佐藤教授(九州大学大学院) による 木質バイオマス講演

- 日時：平成28年7月29日(金)
- 場所：浜田ワシントンホテルプラザ



西部農林振興センター

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-hamada/>

県央

地マツ製材品 乾燥後の品質検査 ～ねじれ量測定試験～

- 日時：平成28年8月1日(月)
- 場所：大田市鳥井町



西部農林振興センター県央事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kawamoto/>

益田

農林大学校 サテライトキャンパス in 高津川

- 日時：平成28年8月2日(火)
- 場所：益田合同庁舎ほか現地



西部農林振興センター益田事務所

URL : http://blog.goo.ne.jp/f-masuda_001/

隠岐

しま 隠岐の木で家をつくる会 住宅見学会

- 日時：平成28年7月30日(土)、31日(日)
- 場所：隠岐の島町有木



隠岐支庁農林局

URL : http://blog.goo.ne.jp/f-oki_001/

農林大

きらりキャンパス ～オープンキャンパスを NHKが取材～

- 日時：平成28年8月22日(月)
- 場所：飯南町上米島



島根県立農林大学校林業科

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-nodai/>